

討 論

今定例会では、請願2件に対して延べ3人の議員が討論を行いました。その概要は次のとおりです。

最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願

賛成 日本共産党 花井 伸子議員

消費増税にすぎない年金制度の充実を求める

趣旨は、財源を消費税によらず、現在の無年金や低年金者に適用する最低保障年金制度を直ちに制定することを求めるものである。

日本の公的年金制度は、20歳から59歳のすべての人に加入義務があるが、25年間の納付期間がなければ年金は支給されない。

今、政府内で論議されている年金制度改革骨子案には、低年金・無年金対策や受給資格の期間短縮などは消費税引き上げと一体に取

少人数学級実現への請願

賛成 日本共産党 花井 伸子議員

り組むことが盛り込まれている。消費税は所得の少ない人ほど負担が重くなる逆進性の強いもので、これではますます低年金者や子育て中の若い世帯の暮らしは大変になることは明らかである。

ること等を内容とする法律が全会一致で可決公布された。改正法の附則において、政府は、公立小学校の第2学年から第6学年まで、及び中学校に係る学級編成の標準を順次改正すること、法制上、その他の必要な措置を講ずることが規定された。

現在、埼玉県でも小学校1・2年、中学校1年の弾力化が実施され、行田・上尾・志木・蕨市などが独自の少人数学級を開始した。

戸田市は、法改正を踏まえて早急に少人数学級の積極的検討段階に入る時期であると考え、賛成する。

法改正を踏まえて早急に検討を

平成23年4月、小学校第1学年の学級編成基準を35人に引き下げ

一 般 質 問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、12月5日、6日、7日の3日間にかけて、20人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲恩師を囲んで…1月9日成人の日、文化会館にて

そこがききたい

市長 合併について本市に相談があったわけではない。合併に対する市民の意識は明確に「反対」であり、民意は尊重されるべきで、合併の考えはない。今後戸田市民であることの誇りを感じていただけのような市政を進める。

政令市を目指すとの報道記事が多々あった。戸田は市民が理想とする「まちづくり」が進んでいるので、合併の必要性はないと思うが。



議員 新川口市が誕生し、戸田、蕨と合併し、

合併 必要性は「ない」と思うが

「誇り抱ける独自のまちづくりを進める」

秋元 良夫 議員

市民医療センター整備

議員 市民医療センター施設整備計画の進捗状況は計画どおりか。

市民医療センター事務

長 来年10月に着工し、平成28年2月に竣工予定。期間中の診療は従来どおり行う。

議員 診療時間の延長、診療科目の増設、救急医療の受け入れを。

市民医療センター

1事務局長 1月より一般外来を月曜から土曜まで完全実施する。その他の外来も順次開設し



▲建て替えが予定されている市民医療センター

議員提出議案(意見書)を全会一致で可決

◆防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

防災会議に女性の視点を反映させるため、①中央防災会議に少なくとも3割以上の女性委員を登用すること②地方防災会議へ女性委員を積極的に登用するた

緊急促進臨時特例基金等5つの基金については、多くの関係者から事業継続を求める声があつており、国民生活の安心と向上を図る上からも、基金及び基金事業を継続するよう、政府に強く求めるものです。

◆国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

安心社会を構築するため、医療や介護の充実などに対する各種基金制度が設けられ、地方自治体における迅速かつ柔軟な取り組みに対して支援が行われてきま

FM放送とテレビのアナログ放送とともにVHF帯の電波を使うため、多くの視覚障がい者がFMラジオでテレビを楽しんできましたが、昨年7月、地上波テレビがデジタル放送へと移行したことにより、テレビの音声もFMラジオで聞くことができなくなりました。

地方防災会議に有識者を登用することを可能とする災害対策基本法の改正を速やかに行うことを政府に対し、強く要望するものです。

そこで、携帯用ラジオに、テレビの地上デジタル放送受信機能を付加し、従来どおりテレビ放送が聞けるようになることなど3項目を、国に対し強く要望するものです。



※討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを討論と言います。